

立教大学経済研究所主催 公開講演会



「当事者が語る！
デンマークのイノベーティブなリスキリング
職業訓練に労・使・政はどのように関わるか
～デンマークの職業訓練政策の担当者を招いて」

報告



Stina Elias 氏

(スティナ・ヴァング・イリアス)
デンマーク中央職業訓練委員会委員長。
デンマーク教育産業協会 (DEA) 部長。

司会
コーディネーター

Thomas Felland 氏

(トマス・フェラン)
労働組合総連合 (FH)
職業訓練コンサルタント。
ヨーロッパ職業訓練開発センター理事。



菅沼 隆 (立教大学経済学部教授)

Arnt Vestergaard Louw 氏

(アント・ヴェスタゴー・ロウ)
オルボー大学准教授
オルボー大学文化教育研究所研究員。



日時

2024年

11月6日(水)

18:00～20:30 開場17:30

ハイブリット開催 (オンラインzoom)

参加費無料
事前申込み制

会場

立教大学 池袋キャンパス
太刀川記念館3階 カンファレンスルーム

対象

本学学生・教職員・一般

言語

同時通訳あり
日⇄英 (対面のみ)

お問い合わせ

申込みURL

<https://bit.ly/47UyFqE>

11月4日(月)12:00 申込〆切



ROYAL DANISH EMBASSY
Tokyo

後援：在日本デンマーク大使館
日本デンマーク協会

立教大学経済研究所

Tel:03-3985-4121 E-mail: r-inst-e@rikkyo.ac.jp



概要

「新しい資本主義実現会議」では、リスクリングを奨励することにより、柔軟な労働市場と生活保障の実現を図ろうとしている。その際デンマークのリスクリングシステムが参照されている。デンマークは職業訓練参加率が欧州で最も高い国の一つで「リスクリング大国」といってよい。これがヨーロッパでトップクラスのイノベーションパフォーマンスを支える基盤を作っている。デンマークのリスクリングシステムは労働組合・経営者団体の能動的な関与と緻密な設計によって成り立っている。実際にどのようにシステムを運営しているのか、デンマーク中央職業訓練委員会の委員長、労働組合総連合の職業訓練政策責任者、若者の職業能力開発の研究者を招き、直接話をしていただく。日本のリスクリング政策にとって重要な示唆が得られることが期待できる。

講師プロフィール

Stina Vrang Elias（スティナ・ヴァング・イリアス）氏

1966年生まれ。国立ロスキレ大学卒、デンマーク教育評価機構、デンマーク経営者連盟などを経て、デンマーク教育産業協会部長。2015年よりデンマーク中央職業訓練委員会委員長。デンマークの職業訓練制度の設計について語っていただく。

Thomas Felland（トマス・フェラン）氏

1972年生まれ。デンマーク教育省職員などを経て、2017年よりデンマーク労働組合総連合・職業訓練コンサルタント。ヨーロッパ職業訓練開発センター（CEDEFOP）理事（デンマーク労働組合選出）。組合の職業訓練方針について語っていただく。

Arnt Vestergaard Louw（アント・ヴェスタゴー・ロウ）氏

1971年生まれ。国立ロスキレ大学卒、オルボー大学准教授、オルボー大学文化教育研究所研究員。若者の職業教育訓練に関する著作多数。アカデミックな立場からデンマークの職業訓練政策の特徴について語っていただく。

（コーディネーター）

菅沼 隆（立教大学 経済学部教授）

科研費プロジェクト「イノベティブ福祉国家としてのデンマーク－福祉国家の持続可能性の制度的基盤の研究」研究代表者。

※本研究はJSPS科研費基盤研究（B）23K20659の助成を受けたものです。